

2018年8月9日

日揮株式会社

2019年3月期第1四半期

テレフォンカンファレンスにおける質疑応答（2018年8月9日開催）

※テレフォンカンファレンス開催日（2018年8月9日）時点の情報に基づく内容です。

| 質問   | 回答   |
|--|--|
| 当四半期（2019年3月期第1四半期）における海外完成工事高は約1,000億円と、通期業績予想に対し、進捗が低いようだが、その要因について教えて欲しい。 | 特段の要因はない。四半期毎の売上高は各案件の進捗に応じて計上されるため若干のブレはあるが、ほぼ想定通りに推移している。  |
| 当四半期の粗利率は7.5%であり、通期業績予想に比べ若干上振れしている。粗利率についても、ほぼ計画通りという認識で良いか。                | 好調な機能材製造事業（旧触媒・ファイン事業。当四半期から名称を変更）の利益の進捗が高かったことが要因である。一方、総合エンジニアリング事業の利益率は期初予想通りであった。全体では、ほぼ想定通りに推移している。 |
| 前年度（2018年3月期）までに、工事損失引当金を計上した案件の状況について、アップデートをお願いしたい。                        | アルジェリアの原油・ガス処理設備プロジェクト、クウェートの石油精製プロジェクトなど、前年度末までに工事損失引当金を計上した案件に関し、当四半期において、大きく損益が変動したものはない。             |
| タイの化学案件について、当社が受注したとの一部報道があった。当該案件は、当四半期において受注計上されているのか。                     | 当該案件に入札していたことは事実であり、商談が良い形で進んでいると認識している。しかし、当四半期末時点では正式契約に至っておらず、受注計上はしていない。第2四半期以降の正式契約、受注計上を期待している。    |
| 当社の今期（2019年3月期）通期受注目標1兆円のうち、海  | 今期の通期受注目標1兆円の内訳としては、概ねご認識の通りである。LNG  |

|  |  |
|--|--|
| <p>外分は 8,500 億円である。この 8,500 億円のうち、LNG カナダプロジェクトで約 6,000 億円の受注計上が見込まれているが、残り 2,500 億円の受注ターゲットとなる案件は何か。</p>  | <p>カナダプロジェクト以外の案件として、東南アジアで複数の石油精製、石油化学案件の入札が行われており、下半期に入札結果が出る見通しである。1 つでも多くの案件を受注し、1 兆円の受注を達成していきたい。</p> |
| <p>今期は税負担の増加が見込まれており、当四半期についても、ほぼ想定通りの水準で税費用が計上されている。今後も、四半期毎の偏りは特になく、ほぼ同水準の税費用が計上されていくとの認識で良いか。</p>   | <p>ご認識の通りである。</p>  |
| <p>貸借対照表の短期貸付金および未収入金が増加している要因について教えて欲しい。<br/>前年度の決算発表時の説明において、イクシス LNG プロジェクトにおける発電設備の下請け工事業者に関わる立替費用が増加すると説明があったが、当四半期における増加についても、同様の要因との理解で良いか。</p> | <p>ご理解の通りである。</p>  |
| <p>米国ゴールデンパス LNG プロジェクトの入札状況のアップデートをお願いしたい。</p>  | <p>現時点で、お話しできる特段の情報はない。</p>  |

以 上